

日本臨床検査専門医会

平成 24 年度第一回常任幹事会議事録

平成 24 年 6 月 15 日

日本臨床検査専門医会 平成 24 年度第一回常任幹事会議事録

開催日時：平成 24 年 6 月 15 日（金）15 時 00 分～17 時 30 分

開催場所：日本臨床検査専門医会事務所

出席者：佐守 友博会長、木村 聡、小柴 賢洋各副会長、
池田 均、菊池 春人、佐藤 尚武、下 正宗、東條 尚子、
米山 彰子、渡邊 卓各常任幹事、土屋 達行監事

欠席者：高橋 伯夫監事

事務局：藤本 梨恵 (敬称略)

定刻、佐守 友博会長挨拶の後、議長として佐守 友博会長を満場一致で選任した。議長は議長席につき開会を宣したのち、議案の審議に入った。

審議事項

第一号議案 議事録署名人選任について

議長は本会の議事録署名人の選出を議場に諮ったところ満場一致をもって次のものを選任した。

議事録署名人 池田 均、菊池 春人各常任幹事

第二号議案 平成 25 年度 教育セミナーについて

議長は、平成 25 年度の教育セミナーの運営方針について、菊池 春人教育・研修委員長に説明させた。平成 23 年度、24 年度は講義形式セミナー、実技形式セミナーとし年 2 回実施した。実技形式セミナーは受講希望があり継続が必要と思うが、開催施設の負担が大きい。来年度以降のセミナー形式について提案いただきたいとの説明があった。これに対し、以下の意見があり、教育・研修委員会で再検討することとなった。

(佐藤 尚武常任幹事) 数年前から実技形式セミナーの継続が問題となっていた。DVD 教材作成、近くの研修施設で受けてもらう等の意見が出たがまとまらなかった。開催形式を考えなおすべき時に来ている。

(土屋 達行監事) 基本的には研修施設で対応できるはずであり、教育用 DVD を作成して受講者に渡しそれを見て自施設で勉強してもらう方法、スライド等

を利用する方法、顕微鏡テレビを利用する方法などが考えられる。

(下 正宗常任幹事) 病理ではバーチャルスライドが用いられている。そういった教材を用意しておく方法もある。

第三号議案 第 41 回日本臨床検査専門医会総会における講演会について

議長は、第 59 回日本臨床検査医学会学術集會会期中に開催予定の第 41 回日本臨床検査専門医会総会における講演会において、佐守友博会長の講演内容について決定する必要がある旨を述べた。佐守 友博会長から以下の提案があり、議場に諮ったところ、満場一致をもって承認可決した。

講演内容：臨床検査振興協議会ってなに？

司会：小柴 賢洋 日本臨床検査専門医会 副会長

演者：佐守 友博 日本臨床検査専門医会 会長

フロアコメンテーター：木村 聡 日本臨床検査専門医会 副会長

第四号議案 第 59 回日本臨床検査医学会学術集會における合同シンポジウム(仮称)について

議長は、第 59 回日本臨床検査医学会学術集會における、当会との合同シンポジウム(120 分)の企画について、小柴 賢洋、木村 聡両副会長に提案させた。企画案として、①検査部のマネージメントについて、②臨床検査技師の認定資格について、③臨床検査技師が求める部長像の説明があった。詳細は、小柴 賢洋、木村 聡両副会長に一任することで議場に諮ったところ、満場一致をもって承認可決された。

第五号議案 会則改定について

議長は、渡邊 卓資格審査・会則改定委員長に会則改定の骨子について説明させ、変更点として以下が検討された。①会員の種類が複数あり議決権等の権利が様々で複雑なため正会員に一本化する。②有効会員、名誉会員の定義と年会費を見直す。③役員に年齢制限を設ける。④会長の任期を再考する。⑤会長選挙の結果は選挙管理委員長が公表して確定するものとする。

今後、資格審査・会則改定委員会で詳細を検討し、年度内の改定をめざすとの説明があった。

第六号議案 ホームページのサーバ移転について

議長は、ホームページのサーバ移転について、その詳細を東條 尚子庶務・会計幹事に説明させた。ホームページをアップしているレンタルサーバの容量が不足する事態となったため、サーバを移転し容量増設をしたい旨は第二回全国幹事会において承認された。このことについて、経費節減ならびに変更作業負担の軽減のため、移転先を変更したい旨を説明し、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決した。

第七号議案 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会における連携シンポジウムについて

議長は、第3回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会における連携シンポジウムについて、その詳細を下 正宗常任幹事に説明させた。下 正宗常任幹事より、第3回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会のシンポジウム公募枠で、下記を予定している。臨床検査を他学会に積極的にアピールして、その存在やリクルートに役立ていきたいという観点から、これを当会との連携シンポジウムとしたい旨を説明し、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決された。

記

第3回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

日時：平成24年9月1日（土）9時～10時30分

場所：福岡国際会議場 第6会場（404～406）

内容：『R-CPC 臨床検査を患者のケアに生かす—検査値を読んで病態に迫る—』

コーディネーター：下 正宗（東京勤労者医療会東葛病院）

出題者：本田 孝行（信州大学病態解析診断学）

解答者：関口由希公（医療生協さいたまさいわい診療所）

解答者：今村 祐子（社会医療法人健友会上戸町病院）

以上

なお、佐守 友博会長、小柴 賢洋副会長から、本企画は会の活動としてよい提案であり、今後、他学会とのジョイント企画を積極的にすすめていく方針としたいとの提案があり、具体的内容についてはその都度、審議することとして承認された。

報告事項

1. 常任幹事の1名追加について

佐守 友博会長より、臨床検査振興協議会における本会の協力体制を強化するため、新たに、高木 康先生を常任幹事として任命することとしたい旨説明があった。

2. 各種委員会報告

① 情報・出版委員会

池田 均情報・出版委員長より、LabCP（30巻1号）は、特集「臨床検査に基づく院内感染対策活動」ならびに「R-CPC」とし、6月中の発刊を予定していたが、原稿収集の遅れから7月になる見込みである。JACLaP News、WIRE は順調に発刊している旨の報告があった。

② 教育研修委員会

菊池 春人委員長より、平成24年度の教育セミナーについて以下の報告があった。申込み者述べ31名中、14名が昨年あるいは一昨年受講者であった。また、今回は申込者の連絡をメールで行ったが、受講生1名から案内メールをもらっていないとの申し出があった。強制返信等、連絡方法について再検討する旨の説明があった。

記

第80回教育セミナー（講義形式セミナー）

開催日時：平成24年4月29日（日）

開催場所：東京医科歯科大学

申込み：29名、出席者：24名

第81回教育セミナー（実技形式セミナー）

開催日時：平成24年5月20日（日）

開催場所：自治医科大学

申込み：27名、出席者23名

③ 資格審査・会則改定委員会

特になし。

④ 渉外・広報委員会

木村 聡委員長より、第 29 回臨床検査振興セミナーについて、以下の報告があった。多くの会員に出席してもらいたいので、郵送でお知らせするものとした。また、来年度は中国から演者を招聘し、中国の医療システムについての講演を企画したいとの説明があった。

記

13 : 35~14 : 35

招請講演「平成 24 年度診療報酬改定の概況と臨床検査の技術評価(仮題)」

座長：小柴 賢洋（日本臨床検査専門医会 副会長）

演者：高山 研（厚生労働省保険局医療課 課長補佐）

特別講演「臨床検査の新時代に向けて」

座長：木村 聡（日本臨床検査専門医会 副会長）

14 : 55~15 : 45

(1) 「新しい日本臨床衛生検査技師会がめざすもの」

演者：宮島 喜文（一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 会長）

15 : 45~16 : 35

(2) 「臨床検査振興協議会の活動とこれからの役割」

演者：渡辺 清明（臨床検査振興協議会 理事長）

以上

⑤ 保険点数委員会

佐藤 尚武委員長より平成 24 年 4 月 25 日に開催された、内科系学会社会保険連合 第 111 回例会の報告があった。また、「医療ニーズの高い医療機器等に関する要望調査について(お願い)」に関して、5 月 28 日付で会員に対して発信した旨の説明があった。

3. 専門医数増加方策検討 WG

三宅 紀子委員長に代わり、木村 聡副会長から以下の報告があった。ホームページを移動しディスク容量が確保できたら、臨床検査専門医のロールモデル紹介ページの作成に取り掛かるとの報告があった。

4. 日本臨床検査医学会連絡事項

佐守 友博会長より、臨床検査振興協議会理事は、日本臨床検査医学会から 4 名、日本臨床検査専門医会から 1 名の計 5 名であったが、これを日本臨床検査医学会から 3 名、日本臨床検査専門医会から 2 名とするよう日本臨床検査医学会理事会に諮り、承認された旨の報告があった。

5. 臨床検査振興協議会連絡事項

佐守 友博会長より、臨床検査振興協議会の広報委員会は、会員団体が合同で広報活動を行うこととなり、各団体から 2 名の委員が参加することとなった。当会からは、木村 聡、小柴 賢洋両副会長が参加するものとしたいと説明があった。

6. 第 23 回春季大会について

大会長の渡邊 卓常任幹事より説明があった。会員の親睦や情報交換はかるため、開催地を箱根湯本のホテルとして参加費に宿泊費を含める。平成 25 年 5 月末もしくは 6 月中のいずれかで行う。日程が定まったら、参加人数の概数を把握するため、アンケート調査を行う予定である。

7. その他

東條 尚子庶務会計幹事より、事務局の事務員が平成 24 年 7 月末で退職予定のため、後任を募集中である旨の報告があった。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

平成 24 年 8 月 3 日

菊池 春人 印

平成 24 年 7 月 26 日

池田 均 印